今日一日楽しめました。
「ナポレオンをバックに表紙です！！」

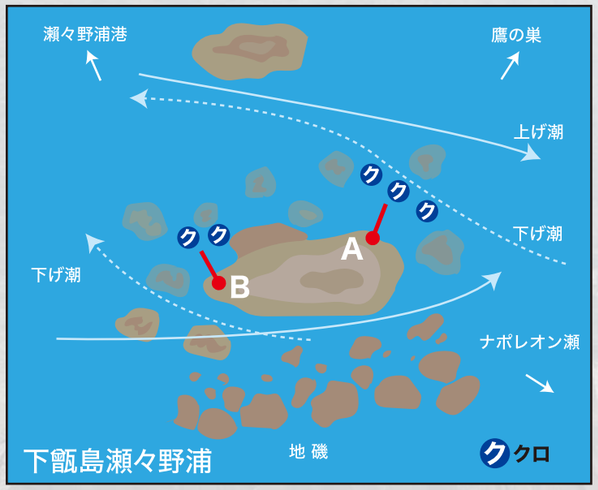
家に帰れば、クロを待っている人がたくさんいます。本当にありがとうございます！！

Bの釣り座でも良型ゲット！！

最後に

今回は、入れ食いとまではいかなかったが、それに近い状態でした。このような時に、きっちり数をかせぐためには、仕掛けを入れたら掛ける、そして獲る、を繰り返すのみです。そのためには、トラブルや無駄な仕掛け投入を極力しないように心掛けます。そして、やはり磯に行って、体を感覚を慣らしておくようにします。

潮を見てマキエサを入れて、エサ盗りや種類、クロの動きなどを確認して、仕掛けを潮とクロを見て作ります。この基本的なことがスムーズに出来れば、秋磯のクロ釣りがおもしろくなり、それが、寒グロ、乗っ込みグロとつながると思います。まずは、釣りに行きましょう。



当日 よく釣れた仕掛け

竿：がま磯グレ競技SP Ⅳ　1.25号　5.3m
リール：ダイワトーナメントZ2500LBD
道糸：サンライン ブラックストリーム マークX1.75号

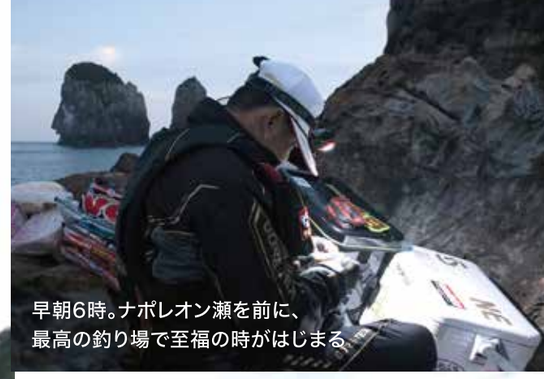
◉ゼクトの使い分けの目安：風が強い時、遠投させたい時はLサイズ。やや風がある時、やや遠投させたい時はα。近距離はMサイズなどです。

甑島・瀬々野浦一帯を案内してくれる永福丸・山下船長

当日、スジアラとイシガキダイを釣り上げた山内さん

長谷場さんも大型スジアラゲット！！

今日イチクラスの40cm超え！



早朝6時。ナポレオン瀬を前に、最高の釣り場で至福の時がはじまる。

海中の様子を観察し、クロの食いが持続するように間合いもとりながらマキエを打つ

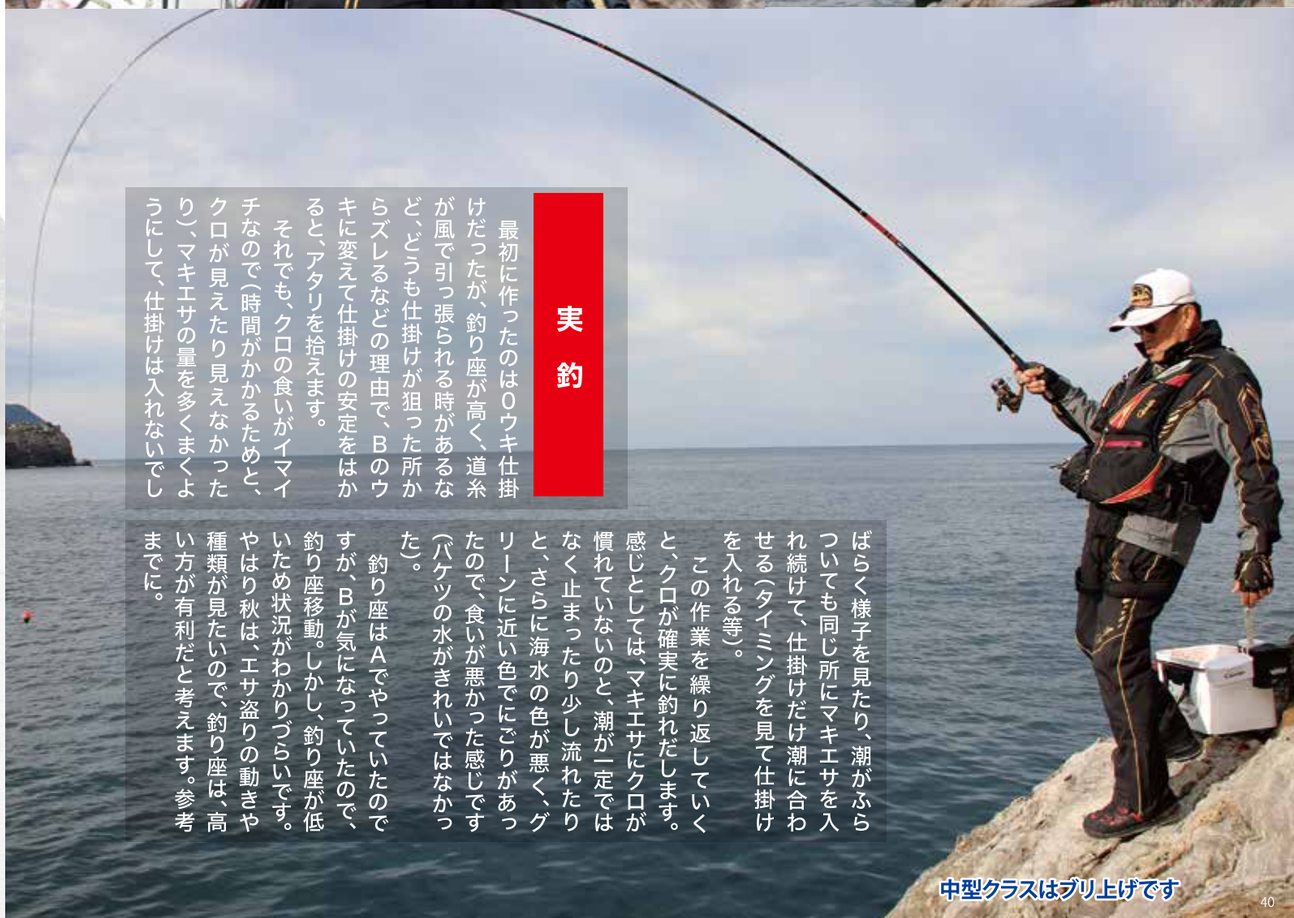
実釣

最初に作ったのはOウキ仕掛けだったが、釣り座が高く、道糸が風で引っ張られる時があるなど、どうも仕掛けが狙った所からズレるなどの理由で、Bのウキに変えて仕掛けの安定をはかると、アタリを拾えます。

それでも、クロの食いがイマイチなので（時間がかかるためと、クロが見えたり見えなかったり）、マキエサの量を多くまくようにして、仕掛けは入れないでしばらく様子を見たり、潮がふらついても同じ所にマキエサを入れ続けて、仕掛けだけ潮に合わせる（タイミングを見て仕掛けを入れる等）。

この作業を繰り返していくと、クロが確実に釣れだします。感じとしては、マキエサにクロが慣れていないのと、潮が一定ではなく止まったり少し流れたりと、さらに海水の色が悪く、グリーンに近い色でにごりがあったので、食いが悪かった感じです（バケツの水がきれいではなかった）。

釣り座はAでやっていたのですが、Bが気になっていたので、釣り座移動。しかし、釣り座が低いため状況がわかりづらいです。やはり秋は、エサ盗りの動きや種類が見たいので、釣り座は、高い方が有利だと考えます。参考までに。



中型クラスはブリ上げです